

ボランティア精神を身に付けることができます。

鉄東地区の「風の子子ども会」では、七月十四日から五日間、防火の呼び掛けをしました。住宅を一軒一軒回って「火の用心」と声を掛けることで、子どもたち自身の防火意識も高まり、地域のきずなも深まりました。



普段目にするのではない被と帽子も木に、子どもたちは大はしゃぎ。子ども会では、このような活動や年中行事を通じて、伝統文化を体験する場にもなっています(7/15)

●地域との交流 ～児童会館

子どもたちと地域の交流は、児童会館でも盛んに行われています。新生児童会館では、地域の皆さんが運営協力会を結成して「新生まつり」や「もちつき」などの行事に積極的に協力しています。同じ地域に住む大人と子どもがこれらの催しを通じて知り合い、気軽に声を掛け合える関係が生まれています。

鈴木佳代子館長は「地域の大人の目が、犯罪などから子どもたちを守ります。互いが顔見知りになることはとても大切です」と話します。児童会館は、大人と子どもの交流を後押しする役割を果たしています。

また、子どもたちが、大人の良なお手本を見てまねをした、という例もあります。同館には毎月絵本の読み聞かせボランティアの方が訪れます。読み聞かせに参加した子どもたちの中から、自分たちも小さな子どもたちに読み聞かせをしてあげよう、という活動が生まれました。

八月七日に行われた「七夕まつり」では、子どもによる紙芝居が行われ、みんな七夕にまつわるお話を楽しみました。



紙芝居の発表。少し緊張したけれど、上手にできました(8/7)

●創造性を高める活動 ～苗穂少年少女発明クラブ

子ども会や児童会館以外にも、子どもたちの力を伸ばす活動をしている団体はたくさんあります。

「少年少女発明クラブ」は、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱をはぐくみ、想像力豊かな人間を形

成するため、(社)発明協会が全国百四十五カ所に設置しています。

苗穂児童会館で活動している「苗穂少年少女発明クラブ」では、専任指導員の五十嵐哲男さんを先生に、月に二回程度、子どもたちの自由なアイデアを生かした工作や、野外学習などを行っています。区内の七つの小学校から、いつも二十人ほどの子どもたちが集まって工作を楽しみ、年二回の工作展では、保護者も一緒に制作に取り組んでいるそうです。どの子どもも工作が大好きで「これからもいろいろなものをたくさん作りたい」と、元気に話してくれました。

ここでも工作を通じて、地域の人と子どもたちの交流が生まれます。



この日作っていたのは車の模型。どういう形にしたらより早く走れるか、工夫の見せどころです。良いタイムで走れたら、全国大会に進むことができます(8/9)

地域の取り組みに共通しているのは、さまざまな交流の場をごく自然に作り出していること。多くの人とふれあうことが、思いやりの心を育てる近道なのかもしれません。

●お問い合わせ先

それぞれの活動の詳細・対象年齢については、下記までお問い合わせください。

子ども会

札幌市子ども会育成連合会東区事務局
☎742-5515
※子ども会の結成されていない地域もあります。

児童会館

新生	北8東7	☎711-1339
北光	北18東5	☎753-6353
北栄	北30東6	☎711-3755
栄西	北46東5	☎752-8363
ひのまる	北38東9	☎752-1551
元町	北21東18	☎784-6664
元町南	北16東16	☎785-6148
伏古	伏古10-3	☎782-5620
丘珠たから	北35東23	☎784-8095
丘珠ひばり	北丘珠4-1	☎785-6137
札幌	東苗穂9-3	☎791-5200
東苗穂	東苗穂5-2	☎786-3191
苗穂	苗穂町5	☎711-8433
札幌小ミニ	東苗穂7-2	☎781-2818
苗穂小ミニ	北9東13	☎731-5977

苗穂少年少女発明クラブ

事務局 五十嵐哲男さん ☎781-1809